

2027年度（2027年4月入学）以降の経済学研究科（博士課程前期課程）におけるコース制および研究指導体制について

○ コース制について

・ 高度専門職業人養成コース

このコースは、博士課程前期課程で、経済学の高度な専門的知識を修得し、各自が選んだ研究テーマについて「特定の課題についての研究成果報告書」をまとめることを目的としています。企業や政府機関等における研究、分析、経営といった業務の遂行に必要とされる能力を養い、希望によっては所定の試験を受けて後期課程へ進学することもできます。

※ 指導教員との相談の上、修士論文を書くことも可能です。

・ 研究者養成コース

このコースは、すでに経済学の基礎知識を学んだ人を対象とし、博士課程前期課程で経済学の諸分野の研究能力を修得し、各自が選んだ研究テーマについて修士論文をまとめることを目的としています。博士課程前期課程修了後、後期課程へ進学することが期待されています。

○ 研究指導体制について

・ 高度専門職業人養成コース

指導教員による研究指導（演習・論文指導）は前期課程1年（M1）の秋学期から行います。ただし、「研究計画評価方式」で入学された方は、出願前に指導の希望を伝えた教員が原則として指導教員となりますが、「共通試験方式」および「経済学検定利用方式」等で入学された方については、M1の春学期に指導教員が決まります。

・ 研究者養成コース

指導教員による研究指導（演習・論文指導）は前期課程1年（M1）の秋学期から行います。指導教員は、原則として出願前に指導の希望を伝えた教員となります。

○ 履修方法（各コース共通）について

指導教員の担当する講義、演習および論文指導の計10単位を含めて32単位以上を修得しなければなりません。

※ 講義は、3つの領域に配置される専門科目、共通科目、7つの基礎科目（ミクロ経済学基礎研究、マクロ経済学基礎研究、計量経済学・統計学入門、文献・実地調査入門、経済史・経済学説史入門、財政学入門、国際経済事情(英語科目)）に分かれます。

【参考】3つの領域と対応する分野およびその概要

領域	分野	概要
経済理論	ミクロ経済学・ マクロ経済学・ 計量経済学・統計学	現代経済学の理論的・統計的手法に習熟した専門家として、経済問題の調査・分析にあたる高度の専門的知識と能力を身につける。
応用経済	財政・経済政策	公共政策・財政・自治体経営などに関わって、広く公共部門で活躍するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。
	産業・企業	現代の産業と企業を対象に、経営・労働・ファイナンスなどについて考察するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。
国際・地域・ 歴史思想	国際経済・地域研究	グローバル化した現代経済を地域的・国際的視野から考察するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。
	歴史・思想	各地域の経済史、経済学史、社会思想史、政治・制度と経済の関わりなどについて考察するために必要な高度の専門的知識と能力を身につける。

以 上